

2025 年 9 月 24 日
認定 NPO 法人 世界の子どもにワクチンを 日本委員会

報道関係者各位

【9 月 27・28 日は「グローバルフェスタ JAPAN2025」開催】
JCV ブースでは支援につながる「はがき」や「切手」等を回収
電子マネーや V ポイントによるご寄付も受け付けます

UNICEF と協力して途上国の子どもたちにポリオ、はしか、結核などのワクチンを届け、命と未来を守る子どもワクチン支援を行う「認定 NPO 法人 世界の子どもにワクチンを 日本委員会」（以下 JCV）は、2025 年 9 月 27 日（土）～9 月 28 日（日）に開催される国内最大級の国際協力イベント「グローバルフェスタ JAPAN2025」に出展いたします。当日はブースにて、誰もが気軽に国際協力やチャリティーに参加できる企画を実施いたします。皆さま、この週末は「グローバルフェスタ JAPAN2025」へお越しいただき、JCV ブース（ブース番号 D043）にお立ち寄りください。



【ご家庭に眠っている「はがき」や「切手」がワクチンに】

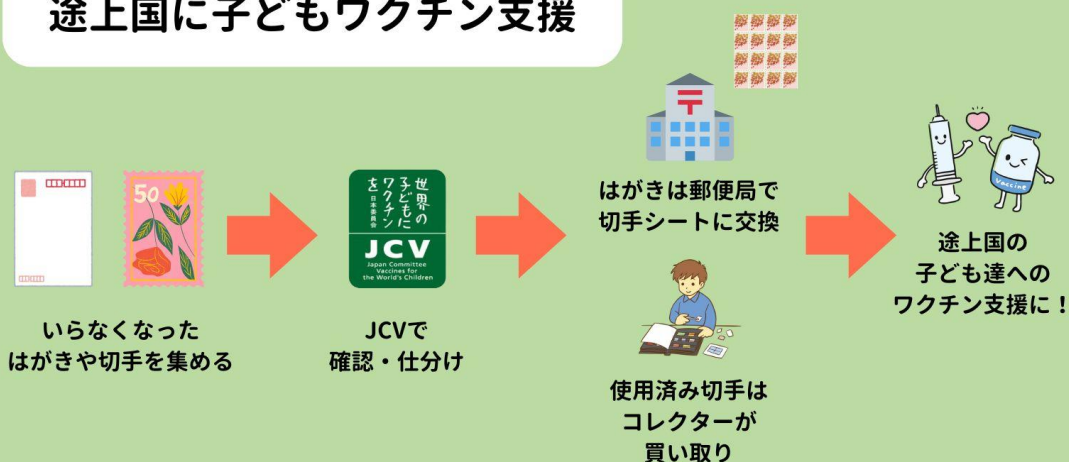
当日、JCV ではブースにて、支援活動の紹介と合わせて「はがき・切手回収活動」を通して、未使用のはがきや切手、書き損じはがき、使用済み切手の回収を実施します。額面が古いものや往復はがき、変色してしまっているはがきなどでも大丈夫です。ご持参いただければ、回収 BOX に入れていただくだけで活動に参加できます。

<会場で回収するもの>

- ①未使用はがき
- ②未使用切手
- ③書き損じはがき
- ④使用済み切手（消印が全て残るように切り取られたもの）

※投函されたはがき、郵便証紙、後納郵便のスタンプなどは対象ではございません。

はがき・切手で 途上国に子どもワクチン支援



集まったはがきは、郵便局で切手シートに交換。また、交換された切手は、未使用切手と合わせて、JCV から皆さまへ発送するパンフレット等の資料、受領書、お礼状などの送料として使用され、節約された通信運搬費が、ワクチン支援に活用されます。そして、使用済み切手は1kg 約 1500 円で買い取られ、その金額が子どもワクチン支援につながります。さらにブースでは、封をしてポストに投函するだけで郵送料のご負担なく支援に参加できる「回収用封筒」を配布します。いらなくなった未使用はがきや切手、書き損じはがきのほか、テレホンカード・プリペイドカード、商品券などのご寄付にご活用いただけます。

集めているもの

書き損じはがき 未使用はがき

※私製はがきは集めていません
郵便はがきや年賀はがき
額面の古い50円などもOK



未使用切手

※この封筒で使用済みは
集めていません



全国共通ギフト券 旅行券、ビール券 図書券、株主優待券 収入印紙、新幹線、回数乗車券



外国紙幣

※外国コインは
集めていません



未使用テレホンカード 未使用プリペイドカード

※この封筒で使用途中、
使用済みは集めていません



ダイヤ、宝石、真珠、金、銀
プラチナ製の貴金属、腕時計
アクセサリ
(ネックレス、イヤリング等)



【電子マネーやVポイントで1円・1ポイントから寄付】

電子マネーで
途上国に子どもワクチン支援



JCV ブースでは、電子マネーや V ポイントでのご寄付いただくことも可能です。ブースに設置している QR コードを読み込んで寄付方法を選択するだけで、1円・1ポイントから、気軽に子どもワクチン支援にご参加いただけます。わずか 20 円（ポイント）のご寄付で 1 人分、100 円（ポイント）であれば、5 人の子どもたちにポリオワクチンを贈ることができますので、皆さまのご協力をお願いいたします。

（電子マネー・V ポイントでのご寄付はこちら → <https://donation.yahoo.co.jp/detail/232001>）

【「グローバルフェスタ JAPAN2025」概要】

外務省、独立行政法人国際協力機構（JICA）、特定非営利活動法人国際協力 NGO センター（JANIC）の共催、内閣府、東京都、NHK 等 32 団体の後援で行われ、国際協力、SDGs などに取り組む官民様々な団体が参加する国内最大級の国際協力イベントです。

- 開催日程： 2025 年 9 月 27 日（土）～9 月 28 日（日）
- 開催時間： 10:00～17:00
- 会場： ①屋内 … 新宿住友ビル三角広場
②屋外 … 新宿中央公園ファンモアタイムひろば（水の広場）
③オンライン会場
- JCV ブース： D43
- 入場料： 無料
- 特設サイト： <https://gfjapan2025.jp/>

【1日 4,000 人の子どもたちが予防可能な感染症で亡くなる現実とワクチンの必要性】

ポリオ、結核、百日咳などの感染症は、途上国においては日常の脅威として、日々、多くの子どもたちの命と笑顔を奪い続けています。その数は1日 4,000 人。20 秒に1人の子どもたちがワクチンの接種をすれば防げるはずの病気で亡くなっています。

私たち、「世界の子どものワクチンを 日本委員会」(JCV) は、途上国の子どもたちにワクチンを届け、彼らの命と未来を守る活動「子どもワクチン支援」を行う民間の国際支援団体です。感染症のワクチンの多くは1人分 20 円、高いものでも約 280 円ととても安価です。私たちは UNICEF や各国の保健省と協力し、1994 年の創設以来、1 億 3,377 万 3,465 人の子どもたちにワクチンを届けてまいりました。

皆さまのご支援により、2024 年は、ミャンマー、ラオス、ブータン、バヌアツの4カ国に1 億 2,348 万 9,371 円分のワクチンやコールドチェーン機器を贈ることができました。



【JCV 団体概要】

- 団体名：認定 NPO 法人 世界の子どものワクチンを 日本委員会
- 代表：理事長 剣持 睦子（ケンモチ ムツコ）
- 創設者：会長 細川 佳代子（ホソカワ カヨコ、細川護熙元首相夫人）
- 本社所在地：東京都港区三田 4-1-9 三田ヒルサイドビル 8F
- URL：www.jcv-jp.org
- 設立：1994 年 1 月 29 日
- スペシャルサポーター：

竹下景子（ワクチン大使・女優）、和田毅（元プロ野球選手）、早見優（歌手・女優）、三國清三（シェフ・株式会社ソシエテミクニ 代表取締役）、進藤奈邦子（WHO 健康危機管理プログラムシニアアドバイザー）、鏡リュウジ（翻訳家・心理占星術研究家）、安藤優子（ジャーナリスト）、キャップ革命 ボトルマン（株式会社タカラトミー）

<お問い合わせ先>

認定 NPO 法人 世界の子どものワクチンを 日本委員会

広報・啓発・教育グループ 乙津

TEL：080-3094-8232 FAX：03-5419-1082

E-mail：otsu@jcv-jp.org